

## JR東日本を取り巻く情勢を認識しよう！ ～年末手当の情勢～

JR東労組は毎年、職場の声を基に年末手当交渉を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症によって経営が悪化しています。JR東日本は9月16日、2021年3月期の業績予想を発表し、経常利益が単体で5,010億円の赤字を見込んでいます。そのため年末手当交渉は厳しいことが予想されます。

他企業もコロナ禍によって経営の危機を迎えており、年末手当の削減・支給しない等を行う企業も多々あります。情勢を学び、年末手当交渉に向けて危機意識を高め、職場の声を集めて本部交渉団を支えましょう！

| 企業名         | 年末手当                                       | 備考   |
|-------------|--|--|
| JTB         | 支給しない                                      | 支給0は発足以来初めて。   |
| オリエンタルランド   | ●4,000人の正社員の手当7割減。<br>●2,000人の限定正社員の手当5割減。 | 10%～30%減額中の役員報酬も今後さらに減額幅を拡大する予定。                                       |
| 全日本空輸 (ANA) | 支給しない                                      | 一般社員の平均年収は前年に比べて3割超、減収予定。今後労使交渉を行う。                                    |
| 国家公務員       | 期末・勤勉手当を0.05ヶ月引き下げ。                        | マイナス改定を求めるのは10年ぶり、年間給与は平均21,000円減                                      |
| JR西日本       | 1. 5ヶ月に減額                                  | 2020春闘において、2.69ヶ月で妥結。業績悪化を受けて会社が各組合と合意解除した。今後JR総連傘下の西労が2.0ヶ月要求で交渉する予定。 |

**社友会では会社と団体交渉することが出来ません！  
 JR東労組に再結集し、経営の危機＝雇用の危機を乗り越えよう！**

